

⑩夕張市美術館収蔵作品展2026第5回

夕張の原風景



畠山哲雄《ずり山初秋》1971



森川昭夫《夕張岳》1990頃



小林政雄《捨石の山》1956



大黒孝儀《開墾地-夕張岳》1951



2026 8.7(金)～16(日) 9時～18時30分
最終入場 18時

拠点複合施設りすた 夕張市南清水沢4丁目48-12

会期中無休◆観覧無料です

夕張市教育委員会教育課社会教育係 0123-57-7711

協力 畠山健児



有村尚孝《東丘から望む鹿の谷》



佐藤忠良《夕張》1998



黒滝好信《原潜かえれ》1966



比志恵司《夕張いろいろ》

2012年に閉館した夕張市美術館。その貴重なコレクションと再会する機会として年に1度、毎年8月に拠点複合施設りすたで展覧会を開催しています。

5回目となる今年のテーマは『夕張の原風景～ズリ山と夕張岳～』です。

皆さんは『夕張の原風景』と聞いて、何を思い浮かべるでしょうか。

私が夕張に移住した約10年前、「ズリを堆積した人工の山には植物が生えん」と元炭鉱マンから聞き、平和にある裸の山がそれと知りました。今はその山にも緑が生い茂り、自然に還りながらもあり続けています。

夕張岳は、国の天然記念物に指定されて今年で30周年を迎えました。長い年月をかけて自然が生み出した軌跡で、四季ごとに装いを変える夕張岳もまた、変わらず望むことができます。

2027年3月に再生振替特例債の返済完了を予定している夕張市。今、まさに「再出発」の時を迎えようとするこのまちは、時を重ねる中でその姿を大きく変えてきました。しかし、『夕張の原風景』には昔も今も変わらない「まちの象徴」が描かれています。

変わりゆくまちの中で変わらないものに目を向けてみると、夕張が確かに歩んできた厚みのある歴史に触れることができる。少なくとも、視界が澄んだようにこのまちを再び新鮮な気持ちで楽しんでいる市外出身者が一人、いることは確かです。

夕張ゆかりの作家も望んだ「ズリ山」と「夕張岳」を通じて、変わりゆくまちの原点とその魅力を今こそ、見つめ直してみませんか。

【文責：夕張市教育委員会 社会教育主事 工藤有咲】

イベント情報



「ゆうばりアーカイブ・2026夏

『1977年のゆうばり』

映像資料等から夕張の歴史を紐解き、「1977年のゆうばり」を参加者同士で語り合います。

【日時】令和8年8月9日(日) 13時～15時30分

【場所】拠点複合施設りすた 多目的室2

【申込】不要、無料で誰でも自由に参加できます。

『畠山哲雄生誕100年記念展』

今年生誕100年を迎える夕張出身の画家「畠山哲雄」の記念展を10月下旬から11月上旬に開催予定です。

夕張市教育委員会
教育課社会教育係

〒068-0536

北海道夕張市南清水沢4丁目48番地12 拠点複合施設りすた内

TEL.0123-57-7711 FAX.0123-57-7710